

# 【かな箸づくり】

「自主活動」または「有料講師」



国立赤城青少年交流の家は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。  
本プログラムでは重点項目を2つ設定しています。



## 内容

大工道具でおなじみの鉋（かな）を使い、角材から檜（ひのき）箸を加工します。自分の手のサイズに適正なサイズにすることもできます。

## 活動前の準備

・利用団体（個人）購入・準備

①かな箸250円 ※1 か月前までに「教材申込書」を食堂に提出する。

②サラダ油 ③布きん（サラダ油用） ④新聞紙

・交流の家貸出可：①かな ②木づち ③治具 ④滑り止めマット ⑤クランプ ⑥横木

⑦サラダ油を入れる容器 ⑧バーニングペン ⑨紙やすり

※かな箸づくりの道具は、20 セットあります。1 セットを2 人組で使います。

## 活動前の準備

・事務室で担当職員と事前打ち合わせを行う。（「打ち合わせシート」「かな箸の作り方」使用）

※活動場所の確認、貸出備品等の確認を行う。

・講師を依頼した団体は、開始前に講師と打ち合わせを行う。

※打ち合わせ場所と時間は、事前に団体が講師と打ち合わせしておく。

・「ゴミ袋」を受け取る。

・食堂に、教材を取りに行く。

・活動場所で、用具の準備を行う。

※貸出用具の準備は、国立赤城青少年交流の家職員が行います。セッティングは、団体が行います。

## 活動の流れ

・会場までの移動時間等を考慮して活動時間を設定する。

### 【活動中】

①道具の使い方、活動の進め方等を確認する。

②かな箸を作る。※「かな箸の作り方」参照

### 【かな箸作成後】

・使用した研修室を清掃し、机を元の状態に戻す。

・使用した道具を倉庫に片付ける。

※貸出用具の最終的な片付けは、国立赤城青少年交流の家職員が行います。

利用団体は、数の確認等をお願いします。

・「ゴミ袋」を事務室に返却し、活動終了の報告をする。

## 留意点

### 【打合せ関係】

・打合わせは、到着後できるだけ早い時期にお願いします。

### 【活動関係】

・刃物やバーニングペンを扱うので、けがややけどに十分に注意してください。

### 【その他】

・有料講師をご希望の場合、指導者1名につき最大40人までとなります。

・複数の団体が同時刻で活動する場合、道具を分けて活動する場合があります。または、活動日程を変更していただく場合があります。